

星座をさがそう

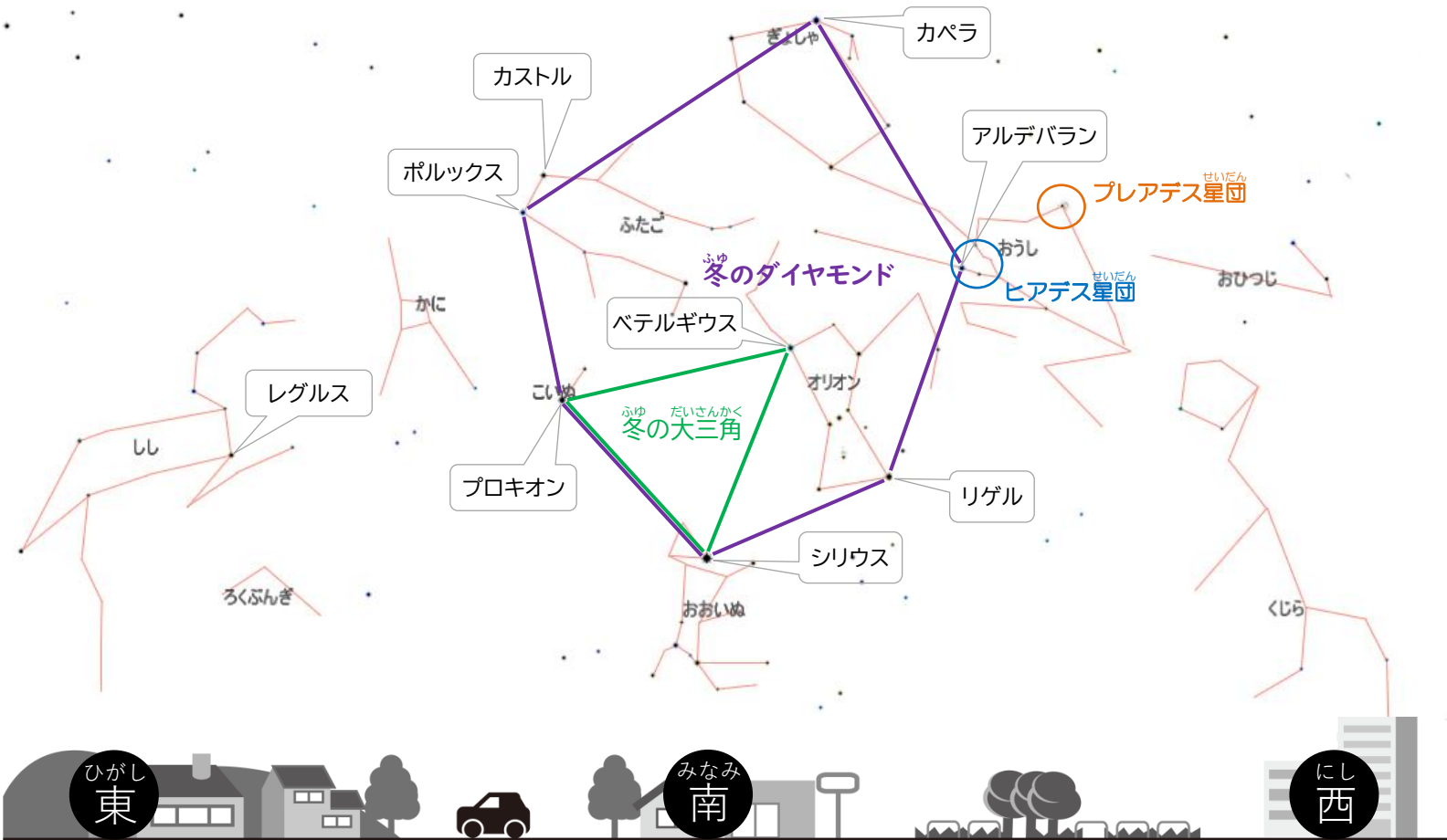
2月のほしぞら

2022年1月31日

三重県立みえこどもの城 ドームシアター

	月のはじめ頃	月の終わり頃
2月	夜 9:00 頃	夜 8:00 頃

◆このほしぞらと同じように見えるのは、右の表の時間だよ。



★さがしてみよう (冬のダイヤモンド)

一年を通して、明るい星がもっとも多いのが冬の夜空です。そんな冬の夜空にはなんと1等星が7つもあります。オリオン座の「ベテルギウス(オレンジ色)」と「リゲル(白色)」、おおいぬ座の「シリウス(青白色)」、こいぬ座の「プロキオン(黄色)」、ふたご座の「ポルックス(オレンジ色)」、ぎょしゃ座の「カペラ(黄色)」、おうし座の「アルデバラン(赤色)」です。この7つの1等星の内、オリオン座のベテルギウスを除いた6つの星を結ぶと、大きな六角形ができあがります。これを「冬のダイヤモンド」と呼び、冬の夜空をきらびやかに飾っています。

★星の名前には意味がある



夜空に輝く星々には、それぞれ名前がつけられています。そしてそれらの名前には意味があります。たとえば、星座をかたち作る星の中で一番の明るさを誇るおおいぬ座の「シリウス」には「焼き焦がすもの」という意味があります。これは、あまりの明るさゆえにすべてのものを焼き焦がしてしまいそうだということで、この名前がつけられました。他にも、オリオン座のオレンジ色の星「ベテルギウス」の意味は、「巨人の脇の下」。その意味のとおり、ベテルギウスはちょうど巨人オリオンの脇のあたりに輝いています。このように、星の名前にはいろいろな意味があります。名前の意味を知った上で、あらためて星々を見てみると、また新しい星の楽しみ方が見つかるかもしれませんね。

ドームシアターリニューアル工事のため、映画・プラネタリウムはお休み中です。
令和4年4月にリニューアルオープン予定！お楽しみに☆

